

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスかりゆーし		
○保護者評価実施期間	2025年1月15日		2025年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 25家庭
○従業者評価実施期間	2025年1月15日		2025年2月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 15名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ひとり一人の特性に合わせた支援 その子の強みを活かすプログラムを心がけている	・その子にあったコミュニケーションツールを使い、 作業するときには必要に応じて視覚的に分かりやすい 手順書を用意している。	・環境を整えて刺激の制御をする。ひとつの場所は ひとつの活動に設定する。
2	・専門職によるプログラムを行う専門家によるア ドバイスを受ける おやつ作り、理科教室、音楽療法、歩行訓練	・保護者交流会を開催し、保護者の困りごとの相談 会を行う。	・継続的に保護者交流会や相談会を行い、さらにエ リアを広げて近隣の保育園等の保護者に寄り添った 支援を行う。
3	・将来を見据えたプログラムの提案	・買い物に出かけてお金の扱い方の練習。 ・自立課題を提供し取り組むようにしている。	・近隣の作業所の見学やイベントに参加できるよう に計画する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常勤職員との情報共有が難しい。	・出勤時間に時差があり、すれ違いで話ができない ことがある。	・日報(紙面)を使い伝達事項を共有していくよう にした。 ・時間の取れる職員でミーティングを行って共有し ている。
2	・常勤職員と非常勤職員の支援技術に差がある。	・問題行動をする子どもへの対応に差が出ることも ある。	・さらに支援に必要な研修や資格取得のための情報 を発信したり個別にアドバイスをしている。
3	・物理的構造化が足りない。	・1階の指導訓練室がワンルームとなっており カームダウン用の部屋が2階にあるため使いにくい (階段を使用し移動しなければならない)	・パーテーションを使用し用途別に分けて使用して いる。・今ある物の管理をし、不要な物を減らして 部屋の構造化をする。